

# DIA2010 動的画像処理実利用化ワークショップ(講演題目をお書き下さい)

○ 平成太郎†, ウィリアム・テイラー‡ (講演者に○を付けて下さい)

○ Taro HEISEI† and William TAYLOR‡

†: 画像科学技術大学理工学部, taro@image.eng.u-pc.ac.jp

‡: Soho Corporation, taylor@soho.com

<要約> これはカメラレディ原稿の様式です。今、お読みになっているのは要約欄の部分です。先頭の<要約>の文字は必要ありません。なお先日ご提出頂いた講演概要の様式と完全に同じです。下記の注意事項はお読み頂ければ、どちらの様式を使って頂いても結構です。ただし作成して頂くページ数は異なります。

<キーワード> ○○○, ○○○, ○○○, ○○○, ○○○ (キーワードを3~5語お書き下さい)

## 1. カメラレディ原稿の作成の手引き

### 1.1 基本的な事項

DIA2010のwebsiteにアクセスし、カメラレディ原稿の様式(本ワードファイルのこと)をダウンロードして下さい。

**提出期限は、2010年1月15日(金)です!**

### 1.2 用紙の設定

用紙はA4,余白は上30mm,下30mm,左20mm,右20mmで、4~6ページで作成して下さい。

## 2. カメラレディ原稿の構成と体裁

### 2.1 原稿の構成

原稿は、表題欄、著者欄、要約欄、本文欄、参考文献欄などから構成されています。

### 2.2 表題欄の体裁

表題欄は上から30mm,1段組でセンタリングとします。文字は14ポ,改行は21ポ,書体はゴシック体の太文字を使用して下さい。副題は,“-”(ハイフン)ではさむなど,適宜処理して下さい。

### 2.3 著者欄の体裁

著者欄は上から50mm,1段組でセンタリング。最初に著者名(+連名者),次の行に所属をお書きください。文字は12ポ,改行は18ポ。表題欄との間隔は10mm程度にしてください。

### 2.4 要約欄の体裁

要約欄は1段組で均等配置とします。文字は10ポ,改行は15ポです。先頭はTAB1~2個程度下げてください。著者欄との間隔が10mm程度となるように調整してください。

### 2.5 本文の体裁

本文は2段組で均等配置とします。章タイトルは字下げせず,1.2.3.…とし,文字は12ポとして下さい。節は2.1,2.2,2.3…とし,段落開始時には1字下げてください。文字の大きさは10ポ,改行幅は15ポです。文字数は全角23文字/行/カラムです。2頁以降は48行/カラムです。

### 2.6 図・表,写真の体裁

鮮明なものをご用意ください。また,図・表内の文字は小さくなりすぎないように注意してください。漢字の場合は8ポイントが限界です。



図1 甲府駅前の武田信玄像

## 2.7 カラー写真の取り扱い

原稿は原則として白黒印刷となります。カラー印刷については、実費ご負担の上で可能な場合もありますので、事務局へご相談ください。

## 3. カメラレディ原稿の提出

### 3.1 提出方法

DIA2010 の website の「カメラレディ原稿アップロード」のページに登録 ID とパスワードでアクセスして、作成したカメラレディ原稿をアップロードして下さい。アップロードするファイルは PDF 形式で、5MB 以下として下さい。

### 3.2 PDF ファイルについて

PDF ファイルには、すべてのフォントを埋め込むようにして下さい (Adobe Acrobat の場合、「高品質印刷」を選択)。フォントが埋め込まれていない場合には正しく印刷できない場合があります。

なお PDF ファイルにセキュリティ制限を加えないでください。

原稿は全て白黒印刷されます。カラーページをご希望は、下記の事務局までお問い合わせ下さい。

**提出期限は、2010年1月15日(金)です！**

## 4. お問い合わせ先

何か問題が生じた場合には、お手数ですが、以下の事務局にご相談下さい。

画像応用技術専門委員会事務局 DIA2010 係  
〒182-0026 調布市小島町 1-11-6 エンケ 102  
(株)キャンパスクリエイト内  
TEL : 080-1076-0019 / FAX : 020-4662-8246  
e-mail : gazoh@campuscreate.com

## 参考文献

- [1] 原靖彦：“動的画像処理”，動的画像処理実利用化ワークショップ 2009 講演論文集, Vol.12, No.3, pp.456-789 (2009)
- [2] 寺田賢治：“密集する不定形状な泡の計数”，外観検査アルゴリズムコンテスト, Vol.9, No.8, pp.7654-3210 (2009)